

平成 28 年度 国立中央青少年交流の家 教育事業

東北と静岡をつなぐ 富士サマーキャンプ

～ “前進” 一歩 一歩 確実な歩みを ～

共催：宮城県南三陸町教育委員会，福島県西郷村教育委員会

後援：静岡県御殿場市教育委員会

期日：平成 28 年 8 月 12 日（金）～ 8 月 18 日（木）6 泊 7 日

○目的

東北（宮城県南三陸町・福島県西郷村）と静岡（御殿場市及び小山町）の小学生が，富士登山を含む様々な体験活動を行う交流キャンプを通じて，未来に向かってたくましく生きる力の素地を育み，前に進んでいこうとする気持ちや態度を共有する。



○参加者〔小学 5・6 年生〕

宮城県南三陸町(16 名) 福島県西郷村(16 名) 静岡県御殿場市及び小山町(14 名) 計 46 名

○事業の内容

(1) 仲間・グループづくり



(2) グループ別にカレーづくり



初めて出会う仲間と，楽しくゲームをしたり，グループごとにカレーを作ったりして仲良くなりました。キャンプの約束や目標を確認し，富士登山に向けた仲間作りを行いました。

(3) 富士山について学ぼう



(4) 富士登山の準備をしよう



登山ガイド「やまぼうし」の佐藤さんから，富士山の歴史や環境，登山の心得を学びました。また，富士登山の前日に御殿場口五合目へ行き，登山靴を履いて歩く練習や，雨具を出して着る練習をしました。そして，グループの目標を決めて旗を作り，登山への意欲を高めました。

(5) 富士登山 (須走口五合目 ~ 本七合目見晴館〔宿泊〕 ~ 山頂 ~ 須走口五合目)



仲間の声で
登ることができた!

【キャンプの“まとめ”より】

ぼくは今まで、自分から「～をやろう」としませんでした。でもこのキャンプで、たくさんの方のことを、「～をやる」と自分から言えるようになりました。富士登山では、7合目ぐらいで気持ち悪くなり、あきらめようと思いました。でも、仲間たちの声で「まだあきらめてはだめなんだ。」と思い、一步一步進んでいきました。もうすぐ山頂なので、必死に進みました。頂上に行けたので、とてもうれしかったです。

(6) まとめの活動



《成果と課題》

- 登山を含め、グループごとの活動を多く取り入れたため、グループ内での人間関係が良好であった。非常に良い雰囲気の中で活動ができた。
- 毎日のまとめの時間を確保したことにより、個人やグループの目標に応じたきめ細かい声かけ等を行うことができた。
- 各グループごとにカウンセラーを配置したことにより、カウンセラーの活躍の場が増えた。
- 本部スタッフ、法人ボランティア、社会教育実習生、ジュニアリーダーが関わっているため、入念なミーティングが必要であったが、十分な時間が確保できなかった。それぞれの役割をはっきりとさせ、事前のミーティング時間の確保が必要である。

Special Thanks!!

- 『前進』Tシャツ作成に関する寄附 : 矢崎総業株式会社 様
- 『前進』Tシャツ作成に関する協力 : ロッキーイワタ 様
- 富士登山時のスポーツドリンクの提供 : コカ・コーライーストジャパン株式会社 様
- 富士登山時の休憩場所の提供 : 富士山須走口五合目「東富士山荘」 様
- 創作活動指導及び材料の提供 : NPO 法人土に還る木・森づくりの会 様